

電気科第3学年*組 国語科 学習指導案			
平成*年*月*日(*) 第*校時 電気科3年*組教室 指導者 大林 亜紀子			
育成する国語の能力	主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。(国語表現「指導事項」(ウ))		
単元名	小論文入門(3) 資料を読み取って書く		
単元目標	○論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。(関心・意欲・態度) ○論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。(書く能力) ○文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにできる。(知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]のイの(イ))		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	・論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとしている。	・論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。
取り上げる言語活動	関心をもった事柄について調査したことを整理して、解説や論文などにまとめること。(国語表現(2)言語活動例のウ)		
題材(教材)	大修館書店『国語表現』 朝日新聞コラム「天声人語」(平成27年10月4日付け)		
単元(教材)について	(1) 生徒観：論理的な文章を書くことに関しては、苦手意識をもっている生徒が多い。その反面、文章を書く能力の必要性は認識しており、簡潔・明瞭な表現を用いた文章を書けるようになりたいという強い願望をもっている。 (2) 教材観：一文が短い簡潔な文章で書かれており、序論・本論・結論と論理構成も整っている新聞のコラムは、論拠に基づく簡潔・明瞭な文章を書くための好適な教材である。 (3) 指導観：第2次の1時間目ではコラムを視写することで内容理解を図る。2時間目では新出語句等の確認を行い語彙を豊かにする。3時間目では構想メモを基に200字の作文を作成する。第3次の1時間目では、自分で書いた作文を推敲して、その作文を互いに読み合い、相互評価を行う。以上の活動を通して、簡潔・明瞭な表現を用いて自分の考えを書いて、伝えることができるようになることを目指す。		
指導計画(学習計画)	主な学習活動	主な評価	
	<p>【第1次(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書とプリントを用いて、資料を読み取って書くことについて、簡潔・明瞭な表現とは何かを理解する。</li> </ul> <p>【第2次(2～7時間) 3時間×2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日新聞コラム「天声人語」を読み、視写することで内容を理解する。また新出語句の確認などを行う。(1時間)</li> <li>前時の活動を踏まえて、作文の構成メモを作成し200字の作文を作成し、推敲を行う。(1時間) ※(本時―二回り目)</li> <li>前時に書いた作文を互いに読み合い、相互評価を行う。(1時間) (※この過程を教材を変えて2回行う)</li> </ul> <p>【第3次(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2次に作成された作文の中で、簡潔に意見がまとめられたものをクラス全員分印刷し、それを共有することで各自の簡潔・明瞭に意見を書く技術の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理の構成や展開を工夫している。(書く能力)</li> <li>文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)</li> <li>論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。(書く能力)</li> <li>優れた表現に接してその条件を考えたり、自分の表現に役立てたりしようとしている。(関心・意欲・態度)</li> </ul>	

本 時 案 (第6時)		
本時の目標	○論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。 (関心・意欲・態度) ○論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。 (書く能力)	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 構成メモの第一段階を作成する。(7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから書く作文のテーマについて、形式にとらわれずに思いついたことを箇条書きに書けるだけ書かせる。</li> </ul>	
構成メモを作り、それを基に自分の考えを200字で書いてみよう。		
2 構成メモの第二段階を作成する。(8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一段階で取り上げた事項の中から、筋道立てて論拠を述べることができる内容を取捨選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論拠に基づいて自分の考えをまとめようとしている。(関心・意欲・態度)〈行動の分析〉</li> </ul>
3 構成メモを基に、実際に200字で作文を書く。(20分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「序論・本論・結論」の枠の中にあてはめて、作文の流れを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論拠に基づいて自分の考えをまとめている。(書く能力)〈行動の分析〉〈記述の確認〉</li> </ul>
4 書いた作文を自己評価表を用いて推敲する。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作文を書き始める前に、自己評価表の評価の観点を使用して、分かりやすい作文を書く時の留意事項を事前に確認させる。</li> <li>構成メモを基に、段落を分けて作文させる。</li> <li>自己評価表を用いて推敲することで、より簡潔・明瞭な表現を目指す。</li> </ul>	(指導上の手立て) <ul style="list-style-type: none"> <li>構成メモが書けない生徒に対しては、内容の如何を問わず書いてみることを促す。</li> <li>作文が書けない生徒に対しては、構成メモで作った作文の内容をそのまま書くことで、作文が書き上がることを助言する。</li> </ul>

2015年(平成二十七年) 10月4日 天声人語

人間の作ったロボットが人間を(①コウゲキ)し始めるのは、(ア)SF映画の定番だ。(②源流)の一つに、チェコの作家チャペックによる(③戯曲)「ロボット」がある。なぜ人間に(④ハム)か  
うのか、彼ら自身が語る理由が不気味だ。「あなた方がロボットのようではないからです。…(イ)ロボットの  
ように有能ではないからです。(千野栄一訳)▼ロボットの(⑤ズノウ)となる(ウ)人工知能の進歩が  
めざましい。この分野への(⑥トウシ)は世界的なブームとも聞く。明るい未来につながるのだろうか。  
一方で(⑦警戒)する人もいる▼「完全な人工知能が開発されれば、人類の(⑧終焉)を招くか  
もしれない。」名高い宇宙物理学者ホーキング博士が、英BBC放送に語っている。知力で(⑨勝)る人間  
は多くの生き物を圧倒し、絶滅させた。同じことが起きないとも限らないと▼人間を超えたものに人間はどう映  
るだろう。人工知能の取材を重ねてきた米国のジェイムズ・バラット氏は近著で(⑩タイイ)こう(⑪オ  
シハカル)。「あなたが、ネズミが(⑫看守)の牢屋で目を覚まし、自分がネズミに作られた  
と知ったら、どういう感情を抱くだろう。(⑬オソレ)？(⑭敬愛)？きっと違うだろう。」▼も  
っとも現場の研究者に聞く心配する水準ではないという。学習能力は「まだ2歳児程度」の声もある。(A)、  
2歳児と比べられるところまで来たと見ることもできる▼大人になって、我々を超えるのにあとどのくらいだろ  
う。いい助っ人でいてくれるのか。忘れていけないのは、(エ)巨大な技術はときに私たちに(⑮キバ)を  
むくということだ。

問1 ①～⑮のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直せ。(送り仮名も含む)

(③戯曲)の意味を調べてみよう。(演劇の脚本。またその形式で書かれた文学作品。)

(⑧終焉)の類義語を調べてみよう。(臨終)

(⑫看守)の意味を調べてみよう。(管理し、見守る人。刑務所で所内の監督にあたる人。)

(⑭敬愛)の意味を調べてみよう。(ある人を尊敬し、親しみの情を抱くこと。愛敬。)

問2 (A)にあてはまる正しい接続詞を以下の語群から選び、○をつけよ。

ア やはり ㊦ だが ウ すると エ たとえば オ つまり

問3 傍線部(ア)「SF映画」とあるが、ロボットが登場する作品名を答えよ。

(ターミネーター) (スターウォーズ) (A. I.)

問3 傍線部(イ)「ロボットのように有能ではない」とあるが、ロボットが人間より有能であると考え理由  
を考えてみよう。

感情に左右されずに、与えられた使命を忠実に実行できること。

問4 傍線部(ウ)「人工知能」とあるが、英語での呼称を調べてみよう。

(artificial intelligence)

問5 昨今、人工知能を用いた技術開発で話題になっていることを調べてみよう。

人工知能に東大入試を受けさせる。人工知能を搭載した車の開発。(トヨタの記者会見(6日))

問6 傍線部(エ)「巨大な技術はときに私たちにキバをむく」とあるが、ここで使われている修辞法を答えよ。

また、内容を分かりやすく説明せよ。 修辞法(擬人法)

人間が開発した技術により、人間自身の生活が脅かされるということ。

おわり	なか	はじめ
もう一度、共存できるか、否かを書く。	人工知能と人間の特性・違いをふまえて、両者が共存するためには何が必要か、書く。	人間と人工知能は共存できるか否か、書く。

題

構想メモ

・人工知能の良い点・悪い点を箇条書きで挙げてみよう。それに対する人間の良い点・悪い点を挙げてみよう。

考えるヒント

これからどんどん進化していく人工知能。人間との共存は可能だろうか。共存するためには何が必要だろうか。考えて書いてみよう。

筆者は、人工知能について「いい助っ人でいてくれるのか。」と懸念を示しています。「巨大な技術はときに私たちに牙をむく」という指摘は、人間は自分たちが開発した技術によって危機にさらされるといふ悲しい矛盾を表しています。懸念を払拭して、人間と技術（ここでは人工知能）が共存するためには何が必要か、考えてみよう。

## 新聞コラムを読んで考えた自分の意見を相手に分かりやすく伝えよう

自分の意見を相手に**分かりやすく伝えるため**に必要なことは  (根拠) と  (論理) **二つ兼ね備えることで明瞭な表現になる!**

起承転結

序論・本論・結論 (序論=起、本論=承・結、結論=結)

天声人語の本文の一文の長さは 30~40 字程度。 **分かりやすさには簡潔であることが大切!**

第6段落=結  
自分の意見  
人工知能への  
危惧

第5段落=転  
理由2  
人工知能の課題

第3・4段落=承  
理由1  
人工知能の可能性

第1・2段落=起  
話題の提示  
人工知能について

※コラムの本文が入る

天声人語は自分の意見を分かりやすく伝えるための文章のお手本です。

200字で作文するときも  (根拠) と  (論理) を忘れずに。簡潔で明瞭な表現になるようにしよう。

### 第3学年国語表現

#### 作文を書くことに関する意識調査（アンケート方式）

※回答に関しては、一切成績とは関係ありません。

第3学年（ ）科（ ）番 氏名（ ）

1. 自分の考えたことを文章に表すことが得意ですか？（得意である 苦手である）

1において「苦手である」と答えた人に聞きます。

① 自分の考えたことを文章に表す際に課題となっているものとしてあてはまる記号に○をつけてください。（複数回答可）

ア 文章の書き方（序論・本論・結論などの型）が分からないから。

イ これまで文章を書いた経験が少ないから。

ウ 語彙・漢字力が足りないから。（表現したい言葉が自分の中で見つからないから。）

エ テーマについて考えるのがおっくうだから。

オ 自分の考えにいまひとつ自信がもてないから。

カ その他（あれば具体的に書いてください。）

--

② 自分の考えを文章に表して、それが相手に伝わるとよいと思いますか？

（ はい いいえ ）

③ 高校卒業後、自分の考えを文章で表す力は必要になると思いますか？

（ はい いいえ ）

④ 文章を書くことを得意になりたいですか？

（ はい いいえ ）

⑤ 文章を読むこと（本を読むこと）は得意ですか？

（ はい いいえ ）

⑥ ほかの人とコミュニケーションを図るために必要となる能力は何だと思いますか？

--

1において「得意である」を答えた人に聞きます。

① 自分の考えたことを文章に表すことが得意である理由として、あてはまるものの記号に○をつけてください。(複数回答可)

ア 文章の書き方(序論・本論・結論などの型)が分かっているから。

イ これまで文章を書く機会が多かったから。

ウ 文章を書くことが楽しいから。

エ 文章を書くことを通して、他の人とコミュニケーションをとることができるから。

オ その他(あれば具体的に書いてください。)

--

② 自分の考えを文章に表して、それが相手に伝わるとよいと思いますか？

( はい いいえ )

③ 高校卒業後、自分の考えを文章で表す力は必要になると思いますか？

( はい いいえ )

④ 文章を読むこと(本を読むこと)は得意ですか？

( はい いいえ )

⑤ ほかの人とコミュニケーションを図るために必要となる能力は何だと思いますか？

--



第三学年 国語表現 資料を読んで書く 自己評価表

( ) 科 ( ) 番 氏名 ( )

自分の書いた作文を推敲しよう。

〈推敲する観点〉	できている		ふつう		できていない
○誤字・脱字はないか。	( 5	4	3	2	1 )
○文章のねじれはないか。	( 5	4	3	2	1 )
(主語に対応した述語を使っているか。 対応していないと、不自然な表現となる。 修飾語と被修飾語が離れていないか。 離れているとあいまいな表現になる。)	( 5	4	3	2	1 )
○一文の長さは適切か。(一文は 30～40 字程度がよい)	( 5	4	3	2	1 )
○結論が分かりやすく書かれているか。	( 5	4	3	2	1 )
○結論に至る理由がはっきり書かれているか。	( 5	4	3	2	1 )
○結論が納得できる内容であるか。	( 5	4	3	2	1 )
○平易な言葉で書かれているか。	( 5	4	3	2	1 )
○文体が統一されているか。	( 5	4	3	2	1 )
○適切に段落分けされているか。	( 5	4	3	2	1 )

第三学年 国語表現 資料を読んで書く 相互評価表

( ) 科 ( ) 番 氏名 ( )

相手の感想を読み、五段階で評価しよう。記載者 氏名 ( )

	とてもそう思う		どちらでもない		全くそう思わない
・結論が分かりやすく書かれているか。	( 5	4	3	2	1 )
・結論に至る理由がはっきり書かれているか。	( 5	4	3	2	1 )
・結論が納得できる内容であるか。	( 5	4	3	2	1 )
・平易な言葉で書かれているか。	( 5	4	3	2	1 )
・適切に段落分けされているか。	( 5	4	3	2	1 )
・一文の長さは適切か。	( 5	4	3	2	1 )

相手へのコメント